学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 情報科

科目名 ：	情報の科学	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 8 回
使用教科書 ：情報の科学 新訂版 （実教出版）			
学習書 ・副読本 ：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	16 回	6 回	5 回	5 回
テスト [T]	1 回	×	×	○
その他 （課題・実習等）	２・３範囲に、ＰＣを活用した課題提出があります。			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・「社会と情報」で学んだ知識をさらに発展的に学習するので、「社会と情報」の学習内容をよく理解しておきましょう。
・実習中のレポート課題について学ぶことがあります。講義・実習形式のスクーリングにできるだけ出席しましょう。
・２進法やプログラミングなどでは数学的な考え方を必要とする場合があります。

2 学習の到達目標

・情報社会を支える情報技術の役割や影響について理解できる。
・情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得する。
・情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度が育まれている。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために情報及び情報技術を活用し、情報社会の発展に主体的に寄与しようとする。	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響及び身のまわりの問題を解決するために情報及び情報技術を活用することについて、科学的な考え方を生かし、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための技能を身に付け、効果的に活用している。	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための知識を身に付け、情報社会を支える情報と情報技術の役割や影響を理解している。
評価方法	・記述の点検（レポート） ・観察（スクーリング）	・観察（スクーリング） ・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査	・観察（スクーリング） ・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査	・観察（スクーリング） ・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学 習 内 容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1範囲	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	講義：情報社会で気をつけること 講義：アナログとディジタルの違い 講義：２進法、文字コード、データ容量 講義：ハードウェアとソフトウェア 講義：ハードウェア・ネットワーク 講義：インターネットのしくみ	○	○	○	○	a:情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響に関心をもてる。 b:問題を解決するために情報及び情報技術を活用できる。 c:情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための技能を身に付けている。 d:情報社会を支える情報技術について理解している。	・レポート
2範囲	① ② ③ ④ ⑤	実習：アルゴリズムとプログラムの基本 演習：ＶＢＡプログラミング 演習：モデル化とシミュレーション 演習：データベース（表計算ソフト） 演習：データベース（データベースソフト）	○	○	○	○	a:情報社会を支える情報や情報技術に関心をもてる。 b:問題を解決するために、適切なソフトウェアを用いて情報を活用できる。 c:情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための技能を身に付けている。 d:情報社会を支える情報技術について理解している。	・レポート
3範囲	① ② ③ ④ ⑤	講義：情報セキュリティ 講義：情報機器の進展と知的財産権 実習：データ分析 実習：問題の解決案と実施・評価	○	○	○	○	a:情報社会を支える情報技術や関連法規に関心をもてる。 b:問題解決のためにデータを分析し、適切な解決案を思案・提示できる。 c:情報及び情報技術を問題解決に効果的に活用するための技能を身に付けている。 d:情報社会を支える情報技術について理解している。	・レポート ・定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。